

▶ 第12回目となる今回は、山梨県立大学 国際政策学部 総合政策学科 3年 中澤友里さんが、山梨銘醸株式会社 代表取締役 北原兵庫氏を取材しました。



学生

山梨県立大学  
国際政策学部 総合政策学科  
3年 中澤 友里 さん

### 石の上にも三年

経営者

山梨銘醸 株式会社  
代表取締役  
北原 兵庫 氏



#### ▶ 学生

はじめに、会社概要についてお聞かせください。

#### ▶ 経営者

我社は寛延3年(1750年)よりこの地で酒造業を行っており、今年で創業263年になります。酒造りだけでなく、日本酒醸造に使用する麴を利用した塩麴やそれをベースにした関連商品、酒粕の甘酒などがあります。他にはレストランも経営しています。お酒は自社の商品を揃えていて、料理は地産地消を掲げたメニューになっており、特に地域資源を取り入れたメニューを提供しています。その他には、自社で使う酒米も生産しており、お客様が見学できるように会社周辺の田んぼで作っています。

#### ▶ 学生

従業員に求めているものはなんですか?

#### ▶ 経営者

最近、奇想天外な発想をする人が少ないと思います。ものづくりの会社としては、奇想天外な見方・考え方をする人が必要です。みんなが同じ角度から考えてしまうと我々のものづくりはあまり良い結果を生みません。

もちろん、人間関係を円滑に進めることは大切だと思います。コミュニケーションがとれなければ会社の一員としてうまくやっていけません。人間関係が仕事にも大きく影

響するので、コミュニケーション能力は必要不可欠だと思います。

また、一人前に仕事ができるようになり、会社や先輩に「仕事仲間」と認めてもらうためには努力が必要だと思います。いつまでも初心者の気持ちでは困ります。おおよその仕事ができるようになるには三年くらいかかります。「石の上にも三年」ということわざがあるように、三年程度は辛くても辛抱して仕事を続けることで真の仕事が見えてくるはずです。この期間は会社側、従業員側にとってもお互いを知る大切な時間です。私は常に従業員に対して自分の持てる力を出し切っているかを評価の基準にしています。良い仕事をするためには、与えられた仕事を好きになるよう努力することも必要です。

企業にとって望む人材の要件の一つとして、臨機応変に対応できる人が望ましいと思います。ルールを守ることも大事ですが、その場に応じて臨機応変に対応することも大事です。一年目は上司から言われたことしかできないか

もしれませんが、別の仕事も任されるようになると機転をきかせて進めていくことは大事だと思います。

#### ▶ 学生

地域貢献についてはいかがですか。

#### ▶ 経営者

地域貢献としては会社のあるこの「台ヶ原地区」の活性化に注力していきたいです。長年ここで商売させていただいている地域住民の皆様へ感謝の気持ちを忘れてはいけないと思っています。今年で11年目になる「台ヶ原宿市」というお祭りを地域全体で協力して行っており、地域の人とコミュニケーションをとることができ、私にとってもプラスになっています。この台ヶ原を活性化させるためにも継続させていきたいと思っています。

#### 取材を終えて...

経営者の方に直接お話を聞けるということで、緊張しましたがとても良い話を聞くことができました。取材の中で仕事ができるようになるには三年はかかるというお話がありました。仕事というのは大変なこともあり、あきらめたくなることもあると思いますが、三年は我慢をし、それを乗り越えることでやっと一人前に仕事を任せてもらえるようになるのだと思いました。今回の取材で得たことを今後の就職活動に活かしていきたいと思っています。貴重な経験をさせて頂き、ありがとうございました。

